

授業改善推進プラン【道徳】

谷戸第二小学校

1 日常の学習における課題分析

- ・ 展開後段の自己の振り返りにおいて、前段での話し合いが生きていない。深い振り返りができるようにしたい。
- ・ 話し合いの場面では、発表者が限られてしまうことがある。
- ・ 児童の変容の見取りが難しい。
- ・ いじめに関する心の育成をさらに重視していく。(新指導要領から)



2 授業改善の方策

- 「道徳の時間を道徳教育の要とし、学校の教育活動全体で取り組む。」を意識して教育活動に取り組む。
- どの児童も考えを深め、児童の変容の見られる授業のために。
 - ・ 児童の実態把握に努める…道徳的価値に対する児童の意識調査、日頃の様子を観察、作文等から児童一人一人の道徳性の実態を把握し、その上で指名したり言葉かけをしたりする。その際、児童のよさ、努力、変容などに着目し、児童への声かけに生かす。
 - ・ 資料提示の工夫…児童が資料を十分理解し、登場人物に共感できるようにするなど、資料提示の方法を工夫する。(視聴覚教材、紙芝居、語り聞かせ、パネルシアターなど)
 - ・ 導入、展開の前段・後段、終末での学習がそれぞれ、ねらいに即したものになっているかを吟味する。
- 児童が思いを表現できる授業にするために。
 - ・ 小グループでの話し合い、小集団での発表でどの児童も表現できるようにする。
- 道徳の時間における授業について再確認する。
 - 導入 児童の実態や資料の特徴により、導入の方法を工夫する。
 - ◆ねらいとする道徳的価値へ、児童の意識を方向付ける。
 - ◆資料について興味・関心をもたせたり、場面や登場人物について解説をしたりする。(絵、写真、アンケート、新聞記事、作文、日記、録音テープ、VTRなどの活用)
 - 展開前段 ◆資料を使って、ねらいとする道徳的価値について考えさせ、把握させる。
 - ・ 資料提示の工夫(紙芝居、語り聞かせ、パネルシアターなど)
 - ・ 指導方法の工夫(発問の吟味、体験を想起させる、役割演技、動作化、板書の工夫等)
 - 展開後段 ◆ねらいとする道徳的価値について自分とのかかわりでとらえさせる。
 - ・ 話し合い、ワークシート、心のノート等で自分を見つめ直す。
 - 終末 ◆ねらいとする道徳的価値の整理、深化、広がり、定着を図る。
 - ・ 教師の説話、児童の作文、保護者からの手紙、歌、ゲストティーチャーの話